

編集室から

毎月お届けしている本紙も各執筆陣はほとんどコロナ色になりました。アメリカでは、インフルエンザで1万人以上の死者が発生しているので、コロナには殆ど無関心なのと対照的な日本ですが、皆様の周りではどのような状況になっているのでしょうか？

現代の恐ろしい兵器は、A B C兵器といわれてきました。A : atomic : 原子 (核)、B : biological : 生物、C : chemical : 化学の頭文字です。

核兵器は、落とされた地域が壊滅的な被害を被ることは、日本人なら誰でも知っている通りです。化学兵器は、地下鉄サリン事件を思い起こせば、大規模に使用された際にどうなるか、想像に難くありません。一方、有害な細菌・ウイルスなどを散布して攻撃する生物兵器は、イメージが付き難いものでした。

もし、潜伏期間が一定程度長く、必ずしも重症化せず、無症状の場合もあり(この点がポイント)、しかし重症化した場合の死亡率は高いというウイルスが人為的に開発されてしまった場合、今回の新型コロナウイルスの拡がりのような状況に陥るのかも知れません。COVID19は死亡率が2%とみられる等、比較的低いので当初は「何するものぞ」と勇ましい発言も見られていましたが、自覚できない無症状感染者が媒体となって市中感染を拡大させている局面に入ったと考えられて、一気に自粛へと舵が切られました。

甚大な破壊を及ぼすものの点的なエリアになるA C兵器に対して、B兵器の場合は人の往来が広域となっている今日、勝手に被害が拡散していく恐ろしさを垣間見ている気がしました。

なお、かつて世界各地で大流行が恐れられたSARSもMERSも、コロナウイルスの仲間なのだそうです。まずは自衛に限ります。(は)



のと
だらぼち

本ニュースにレギュラー執筆していただいている川畠さんが「能登だらぼち」を引き受けて改装開店されました。

上京された際、ご利用になってみてください。

のと だらぼち
03-5537-3078
17:00 ~ 23:00 日曜祝休

中央区銀座8-4-27
プラザ銀座ビル地下1階
(銀座外堀通りasics前)

このニュースは、計画に携わる若手の技術者を育てることを目的に発行を始めました。その後、計画という仕事の内容や、普段、計画マンがどのようなことを考えているのかなどに触れて、少しでも業界を知っていただければと考えて編集しています。

2020/03
(株)アスリック
<http://www.neting.or.jp/usric>
〒920-1167
石川県金沢市もりの里1-149-302

電話 076-233-7217
Fax 076-233-7375
Email usric@neting.or.jp

2020/03
(株)アスリック
<http://www.neting.or.jp/usric>

弥 生



皇居にて
by hama

寄稿 『新型コロナウイルス(COVID-19)について』

サンポート高松クリニック 井垣 俊郎

予定を変更して、今回は新型コロナウイルス(COVID-19)の話にしました。刻々と状況は変わるため2月23日現在という但し書き付きですが、情報の確認としてお役にたてば幸いです。

特徴は肺炎

図をご覧ください。ウイルスは遺伝子が殻に包まれただけの存在で、自力では増殖できません。細菌や多細胞生物の細胞に吸着して自分の遺伝子を細胞内に送り込み、細胞にウイルスを作らせることで増殖します。これがウイルス感染です。この一連の過程でウイルスにとって最も大切なことは、細胞への吸着です。細胞に吸着するため、各ウイルスは特有のスパイク蛋白を持っています。細胞も種類によって、表面に様々な突起が出ています。感染は、スパイク蛋白が細胞表面の突起と特異的に結合することで成立します。そのためヒトの細胞に感染できないウイルスは多数あり、逆にエイズウイルスはヒトのリンパ球にしか感染しません。今までのコロナウイルスやインフルエンザウイルスは、ヒトの上気道(鼻やノド)粘膜の細胞にしか感染できませんでした。しかし変異したCOVID-19はヒトのACE2という突起に引っ掛かるので、下気道(気管支や肺)細胞に感染するようになりました。つまり長引けば、誰でも肺炎になる危険性があるわけです。

空気感染は認められていない

ウイルスは、空中や水中や地中に存在します。最も厄介なのは、空中に漂うウイルスによる空気感染です。空中に漂うと、遠くまで広がるしマスクも無効です。麻疹や水痘は空気感染なので、封じ込めには予防接種が必要です。今のところ確認されている

濱の起業塾 『起業塾 十一 試行』

エジソンが一八七九年に電灯という、これまでにない全く新しい発明をしようとしたとき、二万回とも言われる失敗を重ねても「電灯」という発明のコアアイデアは決して放棄しなかった。

「天才とは九十九パーセントの努力」とも言った象徴的なエピソードだが、彼は何故、これだけの粘りができたのだろうか？単に精神的にタフだった。楽観論者だったという精神論では、真相は見えない。

彼が追求していたのは、電灯という発明の成否ではなく、より明るく耐久性のあるフィラメントの素材であった。この違いを見誤ってはならない。つまり、「電灯を作る」ことは彼の中では既定の事実になっており、あとは市場に出せる耐久性のレベルでの解決策を求めていたに過ぎなかったとも言える。

では何故、彼は「電灯を作る」ことを当たり前とできたのだろうか。勿論、彼にわずかに先行して不安定ながらフィラメント電球の点灯実験を成功させた英国人が居たこともあったかもしれない。が、もう少し物事を俯瞰して眺めないと見えては来ないものがある。

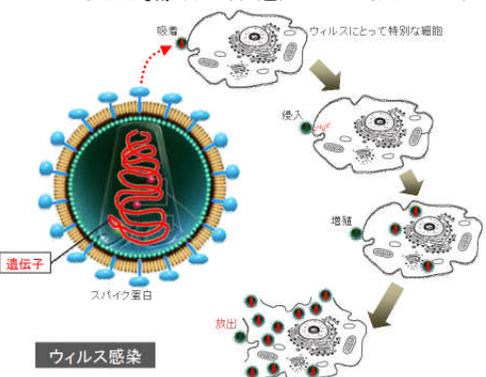
それは電球の発明後に、彼が発表した発電・送電装置の一連の発明だ。彼が眺めていた世界は、電球という製

COVID-19の感染経路は、飛沫(咳とクシャミ)と接触(手で触り粘膜から侵入)のみです。エアロゾル感染(空気感染と飛沫感染の中間)の可能性は指摘されていますが、医療現場など特殊な状況での話です。

感染から身を守るために...

全く新しい感染症なので、簡易な診断法や治療薬はありません。肺炎になってしまうと影響は全身に広がるため、高齢者や持病のあるヒトでは一気に死亡率が高まります。しかし肺炎にさえ至らなければ、他の病原性は強くないようです。中国の統計で、死亡率は高齢者を含めても2%ほどで軽症例も多い事が明らかになりました。肺炎に至るか否かは、侵入するウイルス量とヒトの抵抗力で決まります。侵入したウイルス量が少なければ、感染が肺まで拡大する前に免疫獲得が可能になります。ウイルス量を減らすには、

「マスク・丁寧な手洗い・マメなウガイ」が最も重要です。人混みを避ける事と換気も有効です。その証拠に今年の冬は新型コロナウイルスの影響で感染予防の意識が高まったため、同じ飛沫感染のインフルエンザは激減しています。あとは、抵抗力を高めるだけです。疲れをためず、十分な睡眠時間を確保してください。



【プロフィール】
いがき としお(いぎき としお)金沢大学北浜寮で、濱さんの二年後輩でした。濱さんは、とつとも怖かった…。卒業後は金沢を離れ、現在は温暖な讃岐高松でヌクヌクしています。

品単体ではなく、電力市場という途方も無く大きな世界だったとしたら、その消費を支える(出口側の)電球でコケる訳には往かなかつたのだろう。

起業現場で口やかましく「ビジョン・コンセプトの重要性」を説くのも、ここに理由の一つが在る。眺めている世界が大きく広がっているほど、目前の小さな出来事は気にならなくなるし、問題・課題の本質は、そこではない事が自明となりやすい。

社会実験・テストマーケティングにおいても、思わしくない結果によって全てを放棄してしまう愚を見ることがある。例えば、豊かな自然資源を活かして、何かの体験事業を立ち上げようとする。そのために体験事業を組み立て、参加者を募ったとする。しかし、思ったように集まらない。果たして、この事だけで、このアクティビティは人氣が無い」と決めつけてよいのだろうか？

もしかしたら、募集のやり方に問題があったのかも知れない。魅力が的確に伝わらなかつたのかも知れない...。これらを全て解決して、それでも成果が芳しくなかつたのなら、そこで諦めても遅くはない。

試行を実行する前に、検証するのは何であるのか明確にしておかなければ、エジソンにはなれない。

それは、ビジョンに立ち返り、検証すべき点を一歩ずつ確認していけば善いだけのことだ。

大学受験には、出願から受験、合否判定に至るまでの、手続きの信頼性と公正性が求められる。当然ながらマニュアルの作成と遵守が基本となるが、想定外の、あるいは想定内ではあるが個別に現場判断が必要となるような事象が発生した際に、大学およびその教職員の真価が問われる。

そこで、新型コロナウイルスに感染した受験生に対し、二次試験においてどのような対処をすべきかを考えてみたい¹。

感染については、非感染受験生と比べて予防面での著しい不備等がない限り、本人の落ち度と断定することはできない。受験生が欠席や遅刻した場合、「本人の責めに帰すかどうか」が、彼らに対する対処の大きな分岐点であり、例えば公共交通機関の大幅遅延が理由の場合は特別措置が取られる。私はこの原則が出発点であり、陽性の受験生に対しては、基本的に何らかの特別措置を実施することが適切であると考え。ちなみにセンター試験では、やむを得ない事由があれば、医師の診断書で追試という特別措置が受けられる。

ここでは論をこれ以上深めないが、この選択肢を取る場合、新型コロナウイルスに限るのか、それとも季節性インフルエンザ等の病気や事故、両親の危篤等にまで広げるのかという、非常に難しい問題が横たわっていることも付しておきたい。

一方で、特別措置を行わないという選択を、頭から否定することもできない。今はウイルスの解明に程遠く、向こう1ヶ月の様相すら読めない。直前の試験要項の変更は、大きな混乱が生じる恐れがある。関係者全員に生じるリスクが大きく、最悪、試験そのものの信頼性や公正性に疑念が生じると判断される場合においては、特別措置を実施しないという選択もやむを得ないとする。

両論併記になってしまったが、特別措置の内容を具体的に考えてみると混迷はますます深まる。まず追試だが、該当者の受験機会は復活するものの、大学側において本試験受験生との公平性を確保しつつ、問題作成、会場確保と体制整備、周知、実施、採点と合否判定を行うことが必要となる。これを前期・後期日程のそれぞれの試験日（前期は2/25、後期は3/12に集中）、合格発表、入学手続きの合間に潜り込ませることは至難の技のように思える。次にセンター試験のみでの合否判定は、大学・受験側の双方に負担が少ないという利点があるものの、本来は当初からデザインして初めて成り立つ手法であり、アドミッションポリシーとの整合性と不公平感を抱く受験生の増加が懸念される。

実際に北陸の国公立大学二次試験では、各大学において対応が分かれる結果となった。対応には各大学の事情等があり是非を問う事は難しいが、今後、同様の事態に備え、平時から準備しておくことが望ましいことは言うまでもない。

注1：本コラムは令和2年2月20日時点での情報を基に執筆している。

世界各国で猛威を振るいつつある新型コロナウイルスですが、日本では大小様々なイベントの中止が発表され、もしかすると東京オリンピックですら他国開催が議論されている状況にまでなっています。身近なところでは娘が通う小学校でも目黒区全体で卒業式の中止を検討されているようでして、PTA会長をさせていただいている身としては、私のしょうもないスピーチは是非とも割愛していただき、参列者削減・時間短縮という形でも何とか6年間過ごした学び舎を巣立つ子ども達を送り出したいなあと思うこの頃です。

イベント関係の他にも、観光地における観光関連企業の廃業倒産。特に中国人頼みだったホテルなどは深刻ですね。飲食店のキャンセル多発。企業のテレワーク導入も合わさって繁華街・オフィス街地域の店は厳しい状況が続いています。製造業の部品在庫の不足にともなう工場の休業。部品製造の中国工場の閉鎖で完成品組み立ての日本工場も相次いで閉鎖。通信販売の注文増加で輸送業がパンク。外出控えからAmazonなどネット通販の利用が爆発的に増加。しかし輸送業も人員確保が難しく長引けば注文抑制の動きも。

等々様々な分野で経済活動がストップとしており、個人はもちろんですが経営側としては過ぎ去るまでをいかに耐え忍ぶかという状況であります。5月末に発表されるの経済成長率は間違いなくマイナス成長でしょう。昨年の消費増税の見直しを願うのは私だけでしょうか。

先日のネットで『えっこんなところにも影響が?』という記事を見かけたのでご紹介します。中国の工場に指定のゴミ袋を発注している岐阜県関市では、一部のゴミ袋の納品が遅れ、多くの店で手に入りにくくなっています。関市は大・中・小合わせて3つの容量のゴミ袋を中国 上海の工場に発注しています。市によりますとこのうち中型の30リットルの袋について去年11月に見込みより少なく発注していたミスが分かり急ぎ工場に追加を依頼したところ、納品が2月中旬になると伝えられたということです。ところが新型コロナウイルスの感染拡大で、中国の工場が一時、操業と出荷を停止したため、納品が遅れ今も届いていません。ゴミ袋を販売している市内のスーパーやコンビニエンスストアなどでは去年12月から在庫がなくなり現在多くの店で中型のゴミ袋が手に入らなくなっています。大型や小型のゴミ袋は在庫に余裕があるということですが、市には市民からの問い合わせや苦情の電話がこれまでにおよそ50件寄せられています。(2月21日NHK-WEBより)

そんなところでもグローバル経済がというニュースですが、今回の新型コロナウイルスが及ぼす影響の中で感じたことがあります。

簡素化への回帰

昨今は子供関係のイベントですら行政や地域から多くの参列があったり、そんな事まで行事化?そこまで過度な内容にしなくても感じるものが多々あります。『前年度より大きなものを・多くの予算で』という気質がインフレを起こしている気がしてなりません。

目的は?誰が幸せにするため?という視点で考えると簡素化すべきものがたくさんあると思われます。日本人は本来"わびさび"を美意識とする国民です。原点回帰ということではないでしょうか。

今一度自立した国家運営基盤とは?を考える

何度もこのコラムでも触れていますが、グローバル経済化が進む現代だからこそ、今回のような世界規模での災害時にも国家運営を担保できるだけの基盤強化が必要なのだと考えます。特にこの影響が食糧関連にまで拡大した場合、輸入で食を支えている日本は果たして持続可能な国家運営ができるのか?

今回の新型コロナウイルスに関する事柄が単なる反省に終わらず、子ども達の未来にとってよりよい教訓となることを切に願います。

『富士の国から ~大魔神のたび~』中国 張家界への旅(2019.11.14~18)
静岡県小山町まちづくり専門監 溝口 久

溪流散策後は、張家界森林公園のそそり立つ岩山の上に登って、上からの眺めを楽しもうとエレベーターに乗るとガイドが言う。バスに乗り込みその昇降装置に近づいた。自然保護派なら卒倒しそうなスケルトンエレベーターが、そそり立つ岩に設備されているのではないかと！世界自然遺産で、いいの？なんて生真面目な日本人の声が聞こえてきそうだけど、登坂路を長々と造って岩肌を削るよりもはるかに自然への負荷が少ないのではと思う。富士山五合目にインフォメーションを造るのだけど、環境省の方々が真面目な何てことない施設を計画しているので、ふとそんなことを思った。



2階建てエレベーター3基、1台で60人ほど上げる能力を持つため大量の人数を捌くには適しているかな？でも何時間も待たせることは頻繁にあるようだ。2分ほどで頂部に着くと水平移動で岩の列柱の景色の変化を楽しみつつ歩いていく。前日同様、谷底が丸見えで足がすくむ。歩行路は石畳、ここが中国の凄いところ、日本はまず無い。

雲海に浮かぶ壮大な奇岩の森は壮観で、山水画のような幻想的な雰囲気を醸し出している。山峰の平均標高は800mという武陵源は、近年までトゥチャ族やミャオ族といった少数民族が住む辺境の地だった。武陵源の奇岩には、彼らの苦難の歴史を伝える伝説が語り継がれ、人々が容易に立ち入れない山岳地帯であることから、太古の自然も手つかずの状態のまま残されている。氷河期を生き抜いた古代樹をはじめ3,000種以上の植物や、絶滅危惧種を含む116種の動物が生息しており、その点からも希少価値があるといえる。展望台から見る景色はまさに仙境と呼ぶにふさわしい。



最終日は朝から雨だった。これまでカイモノは無かった。これまで、お茶、絹ふとんや黒真珠、真珠クリームなどなど、ことごとく中国の強引商法に大敗している小生としては、身構える。見るだけが、いつの間にやら買う羽目になっている。さて、今回はいずこに連れて行かされるやらと警戒していた。まずは、竹繊維の店と言う。竹製品はいらん！と入店前は皆そう思っていたに違いない。ところが、吸水性抜群の竹繊維タオル、醤油を垂らしても吸着しないタオルでこれで洗えば洗剤いらぬとの謳い文句。一人が買い出すと雪崩を打ったかのように爆買い。でも単価が高くないから1万円程の

買い物の人が多かった。小生も3000円程購入してしまった。あああ

現地ガイドの李さん、すっかり気をよくして「レストランでの飲み物代はおごりだ」と宣言する始末。これ幸いといつもは1本のビールを2本飲んでしまった。この後もお茶、砂絵の展示販売場へ連行されたが、買う人は殆どいなかった。

この旅の最後を締めくくる観光が待っていた。「大峡谷玻璃大橋」がそれだ。2016年8月、満を持してオープンした全長430m、幅6m、地上からの高さ約300m地点に吊るされた世界最長、世界最高度を誇るガラスの吊り橋だ。（「玻璃」は中国語でガラスの意味）。

設計は国際コンペの結果、イスラエルの建築家ハイム・ドウタンが手掛けた。目の前に現れた橋の姿は、真っ白な優美な曲線。まるで白鳥のようだ。それにガラスの平らな床。素晴らしい！世界から人を集めるってこういうことかなってつくづく思い知らされる。一度に最大800人、一日では最大8,000人まで乗ることが可能とされている。足元の深い谷底、周りの雄大な風景と相まってまるで空中散歩をしている感覚になる。残念なことに雨が降っていてガラスの透明感が薄れ、浮遊感が物足りなかったのが少し残念。

今回の旅は中国の圧倒的な観光開発の仕方、エンタテイメント性にぶちのめされた。まだまだ粗さはあるけど向上していくことは間違いない。街中にはもうごみは殆ど無い。

観光は人を招き入れることだから、美しくすること、美味しいものを食べて満足してもらうこと、心地よい宿の提供、楽しませる、もてなす行為を磨いていくことになり、時が経つにつれ様になっていく。結果として素敵な観光地が自然とできていく。そう結果観光なのだ。チープな観光施設、安売り、キャンペーンを張ること、コマーシャルして、人を集めることを目的する観光じゃないこと。それが持続可能な観光地づくりかなとつくづく思うのだ。（おしまい）

